

Ⅱ 病院報告

1 患者数

(1) 1日平均在院・新入院・退院患者数

病院の1日平均在院患者数は、1,318,020人で、前年に比べ1.1%（14,635人）減少している。

このうち、「精神科病院」は236,704人で、前年に比べ0.5%減少し、「一般病院」は1,081,228人で、前年に比べ1.2%減少している。

病床の種類別の1日平均在院患者数は、「一般病床」は690,392人、「療養病床」は308,797人、「精神病床」は78,396人であり、「療養病床」のうち、「介護療養病床」は90,652人となっている。

また、1日平均新入院患者数は38,999人、1日平均退院患者数は39,061人となっている。

療養病床を有する診療所の療養病床の1日平均在院患者数は、12,968人で、介護療養病床は5,051人となっている。（表1、図1）

（参考）統計表11 年間患者数、病院の種類—病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移

表1 1日平均在院・新入院・退院患者数

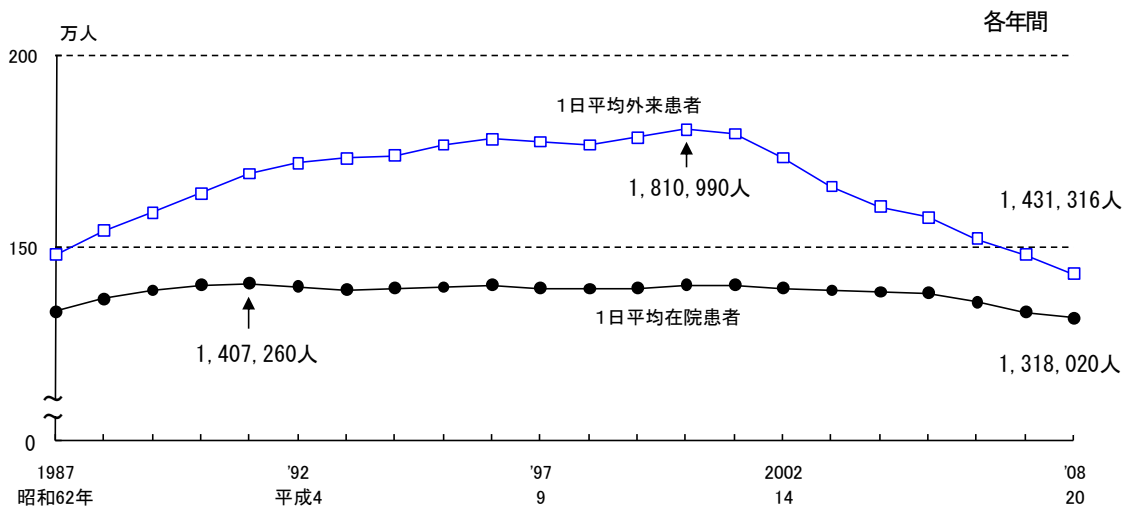
各年間

	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数			1日平均退院患者数		
	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	対前年 増減率	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	対前年 増減率	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	対前年 増減率
病院	人	人	%	人	人	%	人	人	%
総数	1 318 020	1 332 655	△ 1.1	38 999	39 104	△ 0.3	39 061	39 142	△ 0.2
精神科病院	236 704	237 964	△ 0.5	676	659	2.6	679	665	2.1
一般病院	1 081 228	1 094 602	△ 1.2	38 322	38 444	△ 0.3	38 382	38 476	△ 0.2
精神病床	78 396	79 386	△ 1.2	325	332	△ 2.1	334	340	△ 1.8
感染症病床	43	39	10.3	4	4	△ 0.0	4	4	0.0
結核病床	3 601	3 838	△ 6.2	49	56	△ 12.5	49	55	△ 10.9
一般病床	690 392	699 357	△ 1.3	36 953	37 057	△ 0.3	36 468	36 543	△ 0.2
療養病床 (再掲)	308 797	311 982	△ 1.0	990	995	△ 0.5	1 528	1 534	△ 0.4
介護療養病床	90 652	98 529	△ 8.0	196	219	△ 10.5	244	275	△ 11.3
療養病床を有する診療所									
療養病床 (再掲)	12 968	14 359	△ 9.7	82	90	△ 8.9	112	123	△ 8.9
介護療養病床	5 051	5 674	△ 11.0	39	38	2.6	44	45	△ 2.2

注：1) 病院の総数には結核療養所を含む。

2) 月途中で病院の種類が変更された場合、患者数は月末時の病院の種類別で計上している。

図1 1日平均患者数の年次推移



注：1日平均外来患者数は、現行の算出式で再計算したため、平成11年までの報告書と一致しない。

(2) 1日平均外来患者数

1日平均外来患者数は1,431,316人で、前年に比べ3.4%（50,006人）減少している。

このうち、「精神科病院」は53,965人で、前年に比べ0.8%増加し、「一般病院」は1,377,346人で、前年に比べ3.5%減少している。（表2、図1）

人口10万対1日平均外来患者数は1,120.9人で、前年（1,159.4人）に比べ38.5人減少している。

都道府県別にみると、高知県（1,808.4人）が最も多く、次いで香川県（1,612.8人）となっており、静岡県（842.8人）、埼玉県（891.7人）などが少なくなっている。（図2）

（参考）

統計表 11 年間患者数、病院の種類・病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移

統計表 12 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

統計表 14 都道府県—18大都市・中核市（再掲）別にみた人口10万対1日平均患者数

表2 1日平均外来患者数

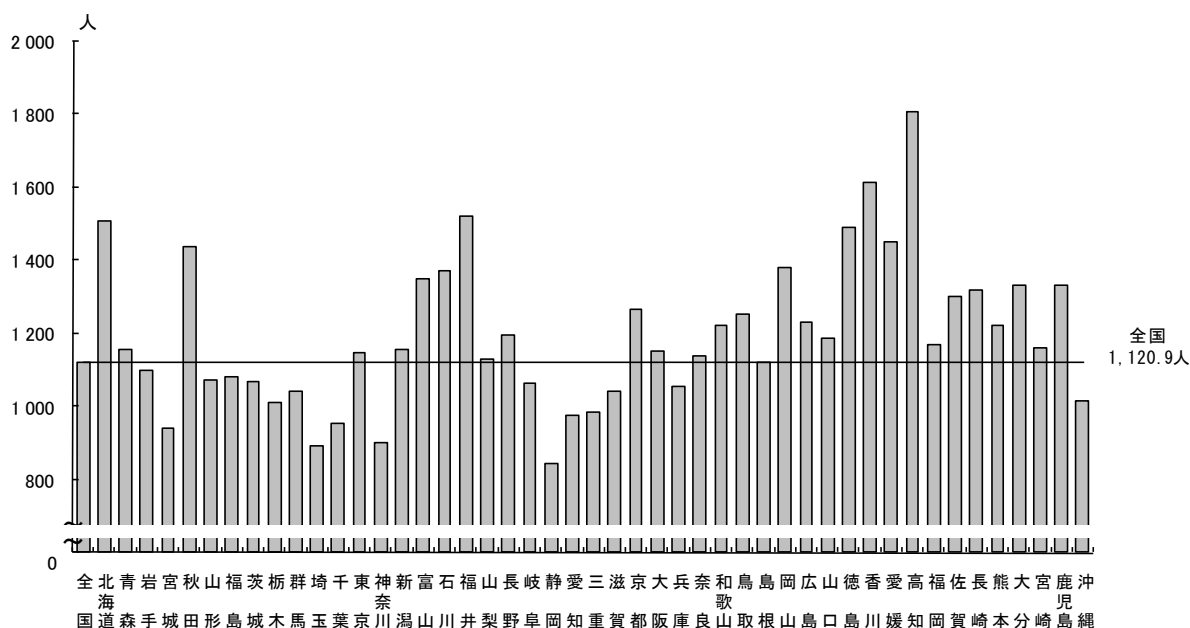
各年間

	1日平均外来患者数		対前年 増減率
	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	
総 数	1 431 316 人	1 481 322 人	△ 3.4 %
精 神 科 病 院	53 965	53 545	0.8
一 般 病 院	1 377 346	1 427 772	△ 3.5

注：総数には結核療養所を含む。

図2 都道府県別にみた人口10万対1日平均外来患者数

平成20(2008)年 年間



(3) 都道府県別にみた1日平均在院患者数

1日平均在院患者数の病床の種類別構成割合をみると、「精神病床」23.9%、「療養病床」23.4%、「一般病床」52.4%などとなっている。

これを都道府県別にみると、「精神病床」の割合が高いのは宮崎県(33.8%)、「療養病床」は高知県(41.4%)、「一般病床」は和歌山県(61.2%)となっている。(図3)

人口10万対1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「精神病床」は246.8人で、前年(248.4人)に比べ1.6人減少しており、「一般病床」は540.7人で、前年(547.4人)に比べ6.7人減少している。「療養病床」は241.8人で、前年(244.2人)に比べ2.4人減少している。

これを都道府県別にみると、「精神病床」は鹿児島県(544.1人)が最も多く、次いで長崎県(513.5人)となっており、神奈川県(137.7人)、滋賀県(149.5人)などが少なくなっている。「一般病床」は大分県(813.5人)が最も多く、次いで高知県(807.4人)となっており、埼玉県(358.3人)、神奈川県(395.4人)などが少なくなっている。「療養病床」は高知県(876.5人)が最も多く、次いで山口県(624.6人)となっており、宮城県(121.1人)、神奈川県(130.3人)などが少なくなっている。「介護療養病床」は高知県(312.0人)が最も多く、次いで山口県(219.0人)となっており、宮城県(13.5人)、山形県(14.2人)などが少なくなっている。(図4)

(参考)

統計表 12 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

統計表 13 都道府県・病床の種類別にみた1日平均在院患者数の構成割合

統計表 14 都道府県-18大都市・中核市(再掲)別にみた人口10万対1日平均患者数

図3 都道府県・病床の種類別にみた1日平均在院患者数の構成割合

平成20(2008)年 年間

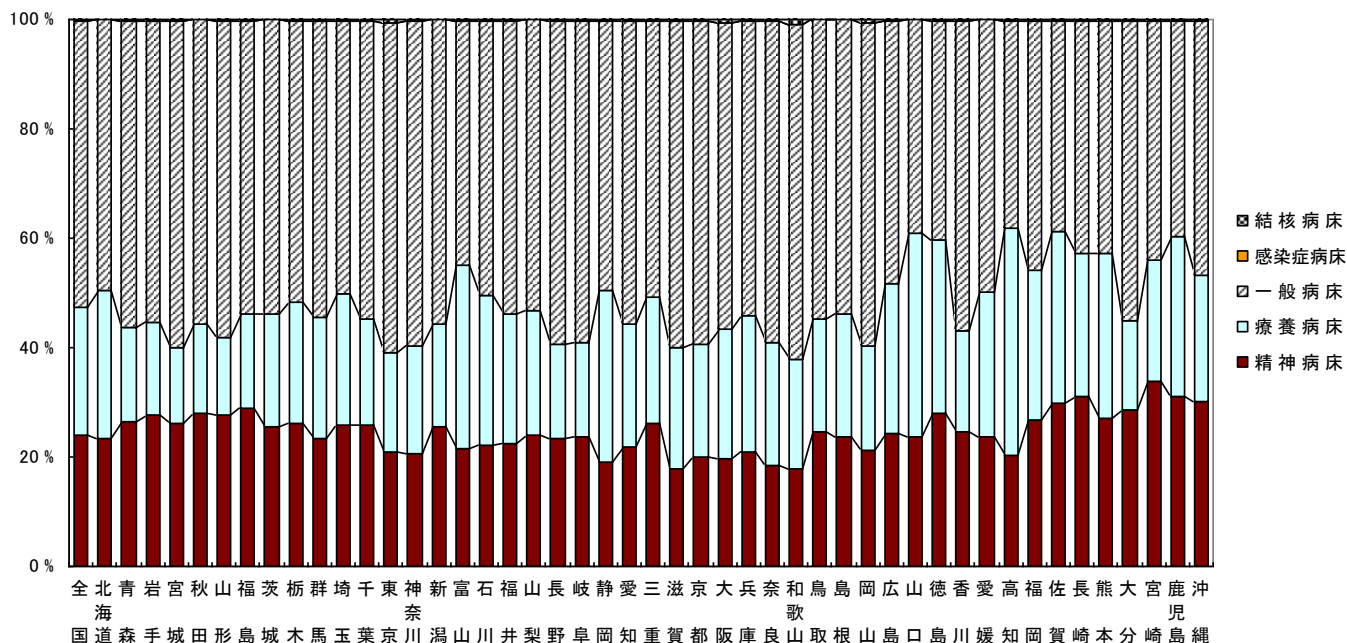
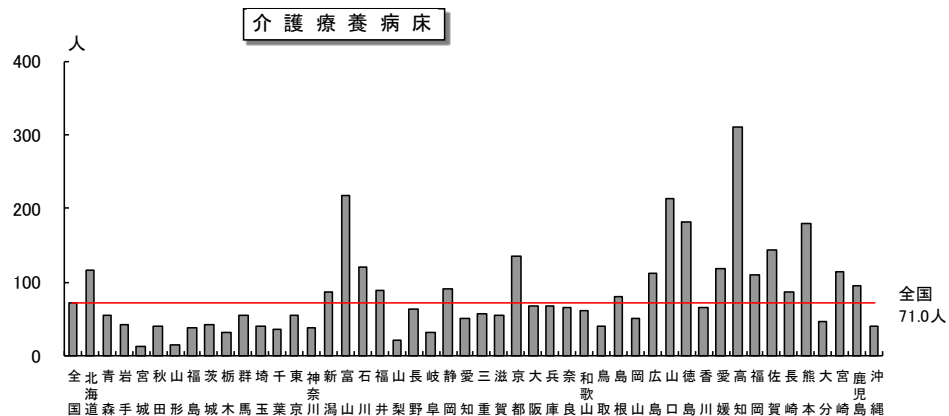
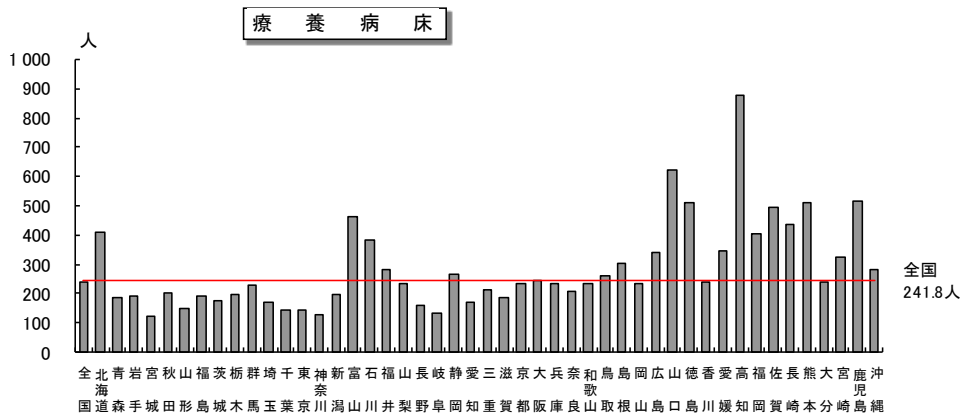
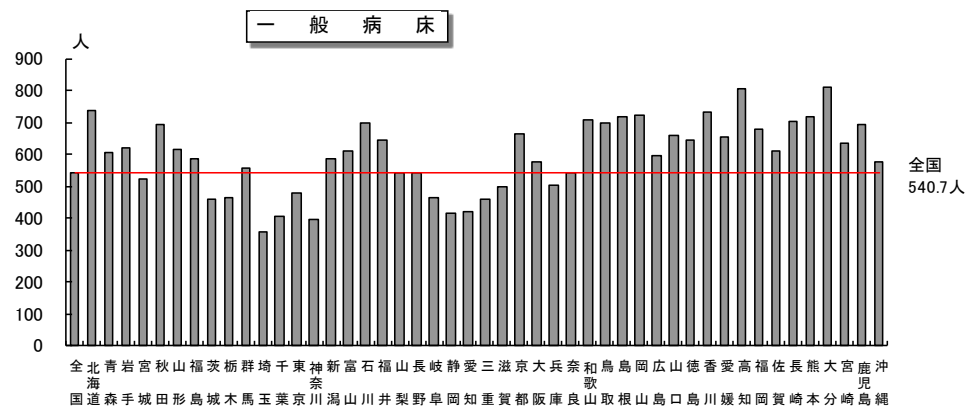
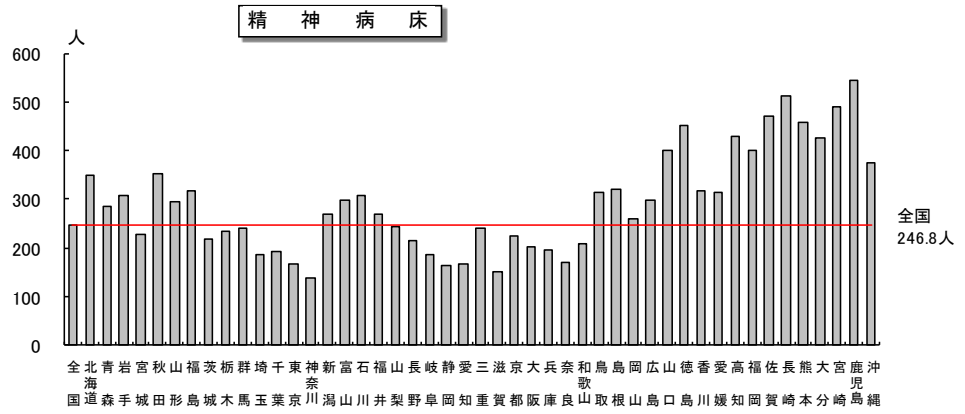


図4 都道府県別にみた人口10万対1日平均在院患者数

平成20(2008)年 年間



2 病床利用率

病院の病床利用率は81.7%で、前年に比べ0.5ポイント低下している。

病床の種類別にみると、「精神病床」は90.0%、「一般病床」は75.9%、「療養病床」は90.6%、「介護療養病床」は94.2%となっている。

療養病床を有する診療所の「療養病床」の病床利用率は72.3%で、前年に比べ2.1ポイント低下しており、「介護療養病床」は80.2%となっている。(表3)

(参考) 統計表12 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別による病床利用率・平均在院日数の年次推移

表3 病床の種類別にみた病床利用率

各年間

	病床利用率		対前年 増減
	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	
病院	%	%	
全病床	81.7	82.2	△ 0.5
精神病床	90.0	90.2	△ 0.2
感染症病床	2.4	2.2	0.2
結核病床	38.0	37.1	0.9
一般病床	75.9	76.6	△ 0.7
療養病床	90.6	90.7	△ 0.1
介護療養病床	94.2	93.9	0.3
療養病床を有する診療所			
療養病床	72.3	74.4	△ 2.1
介護療養病床	80.2	79.4	0.8

3 平均在院日数

(1) 病床の種類別みた平均在院日数

病院の平均在院日数は33.8日で、前年に比べ0.3日短くなっている。

病床の種類別みると、「精神病床」は312.9日で前年に比べ5.0日短く、「一般病床」は18.8日、前年に比べ0.2日短くなっている。「療養病床」は176.6日、前年に比べ0.5日短くなっている。「介護療養病床」では292.3日で、前年に比べ8.1日長くなっている。

また、療養病床を有する診療所の「療養病床」は104.4日、前年に比べ1.8日短くなっており、「介護療養病床」は103.6日、前年に比べ10.6日短くなっている。(表4、図5)

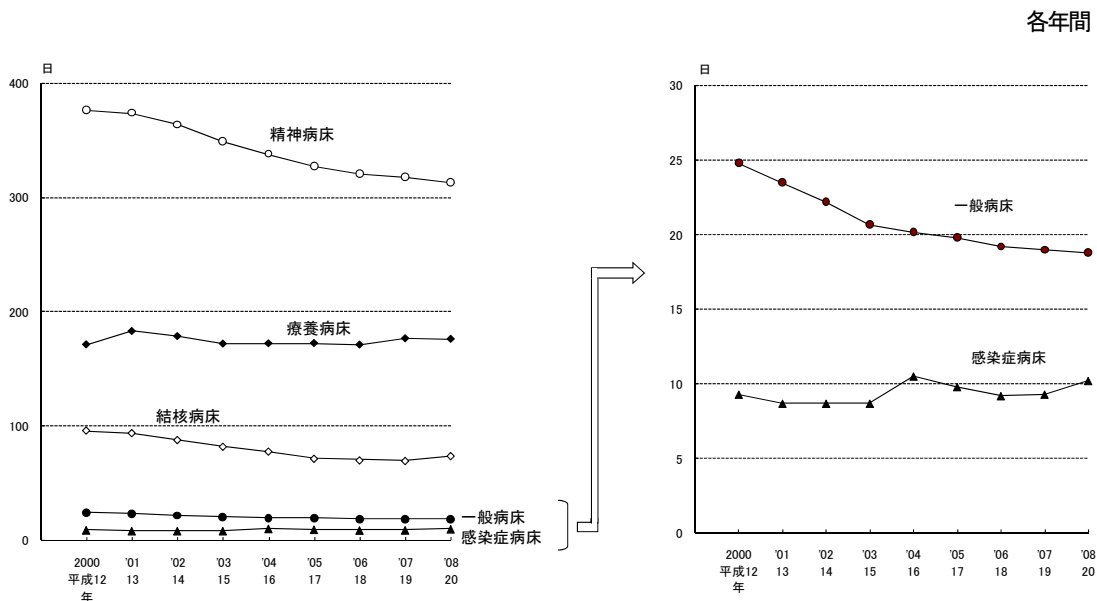
(参考) 統計表 12 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別みた病床利用率・平均在院日数の年次推移

表4 病床の種類別みた平均在院日数

	平均在院日数		対前年 増減数
	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	
病院			
全病床	33.8	34.1	△ 0.3
精神病床	312.9	317.9	△ 5.0
感染症病床	10.2	9.3	0.9
結核病床	74.2	70.0	4.2
一般病床	18.8	19.0	△ 0.2
療養病床	176.6	177.1	△ 0.5
介護療養病床	292.3	284.2	8.1
介護療養病床を除く全病床	31.6	31.7	△ 0.1
療養病床を有する診療所			
療養病床	104.4	106.2	△ 1.8
介護療養病床	103.6	114.2	△ 10.6

注：平均在院日数の計算式は6頁を参照。

図5 病院の病床の種類別みた平均在院日数の年次推移



- 注：1) 平成11年4月の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の施行に伴い、医療法に基づき「伝染病床」は「感染症病床」に改められた。
 2) 「一般病床」は、平成10～12年は「その他の病床」のうち「療養型病床群」を除いたものであり、平成13～15年は「一般病床」及び「経過的日その他の病床（経過的日療養型病床群を除く。）」である。
 3) 「療養病床」は、平成12年までは「療養型病床群」であり、平成13～15年は「療養病床」及び「経過的日療養型病床群」である。

(2) 都道府県別にみた病院の平均在院日数

病院の平均在院日数を都道府県別にみると、「全病床」は高知県(53.4日)が最も長く、東京都(26.0日)が最も短くなっている。「精神病床」は鹿児島県(469.1日)が最も長く、東京都(226.3日)が最も短くなっており、「一般病床」では高知県(23.7日)が最も長く、神奈川県(16.3日)が最も短くなっている。「療養病床」は富山県(269.5日)が最も長く、宮城県(99.4日)が最も短くなっている。また、「介護療養病床」は秋田県(772.6日)が最も長く、宮城県(78.4日)が最も短くなっている。(表5、図6)

(参考) 統計表 15 都道府県-18 大都市・中核市(再掲)別にみた病床利用率及び平均在院日数

表5 病院の平均在院日数

(単位: 日)		平成20(2008)年 年間									
		全病床		精神病床		一般病床		療養病床		介護療養病床	
全国		33.8		312.9		18.8		176.6		292.3	
長い県	高知	53.4	鹿児島	469.1	高知	23.7	富山	269.5	秋田	772.6	
	佐賀	51.7	徳島	448.4	佐賀	22.9	山口	236.4	栃木	458.1	
	鹿児島	49.2	大分	405.1	和歌山	22.1	北海道	231.0	山口	441.9	
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	
短い県	長野	26.6	福井	232.8	静岡	16.6	鳥取	110.7	島根	115.5	
	神奈川	26.2	高知	231.5	東京	16.4	長野	104.4	山形	97.4	
	東京	26.0	東京	226.3	神奈川	16.3	宮城	99.4	宮城	78.4	
(最長-最短)		27.4		242.8		7.4		170.1		694.2	

注: 平均在院日数の計算式は6頁を参照。

図6 都道府県別にみた病院の平均在院日数

